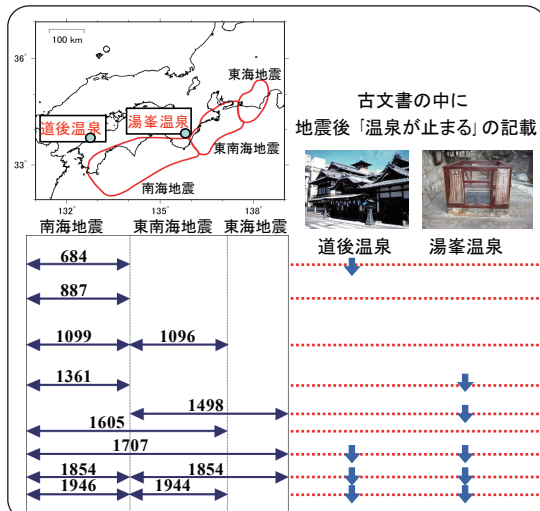
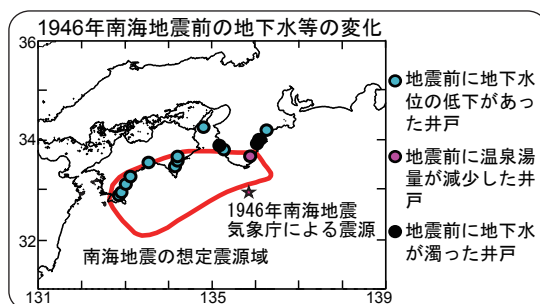


東南海・南海地震予測のための地下水等観測施設

串本津荷観測井

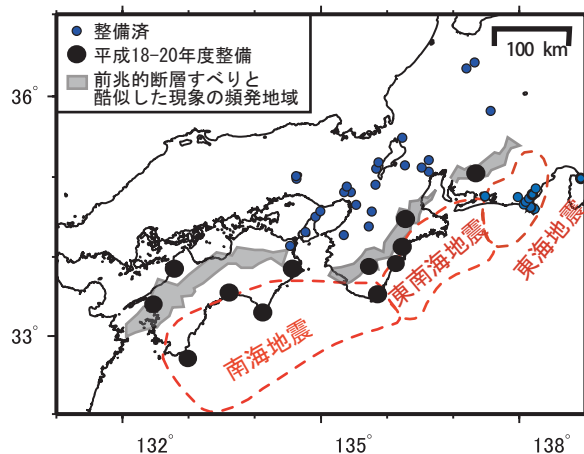


産業技術総合研究所 地質調査総合センター

観測施設の目的

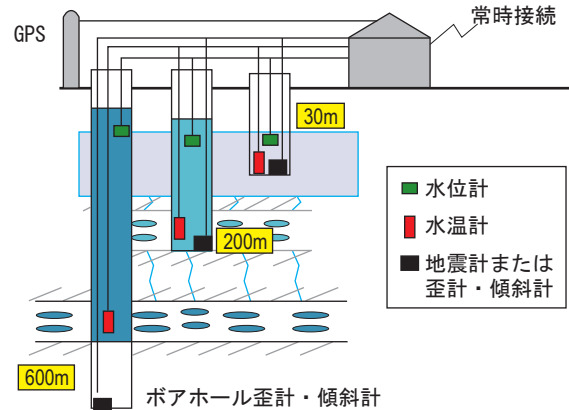
産業技術総合研究所ではこれまで、地下水観測による東海地震の予知研究を30年余り継続し、成果を挙げてきました。この成果を南海・東南海地震の予測に生かすために、2006年度から紀伊半島～四国周辺に地下水等総合観測網の整備を開始しました。串本観測井はその一つです。なお、この施設は観測研究用であり、防災警報用ではありません。

産業技術総合研究所の地下水等総合観測点

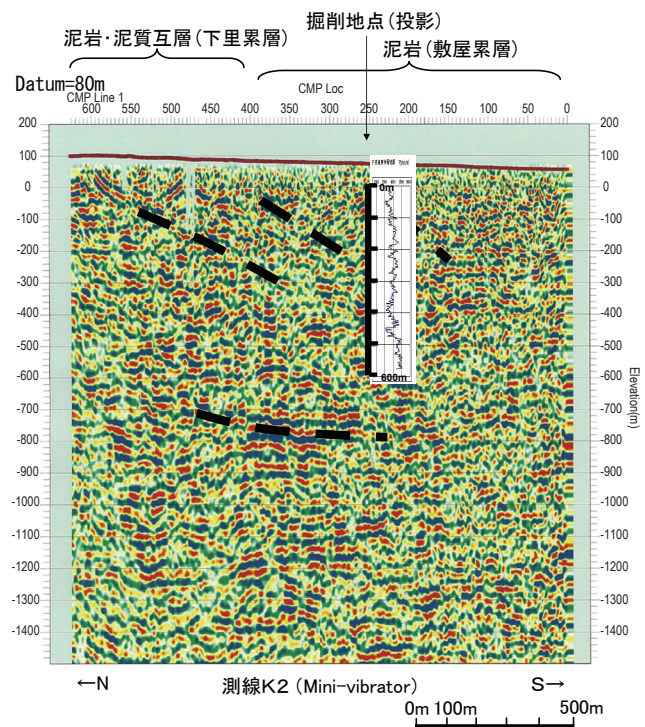
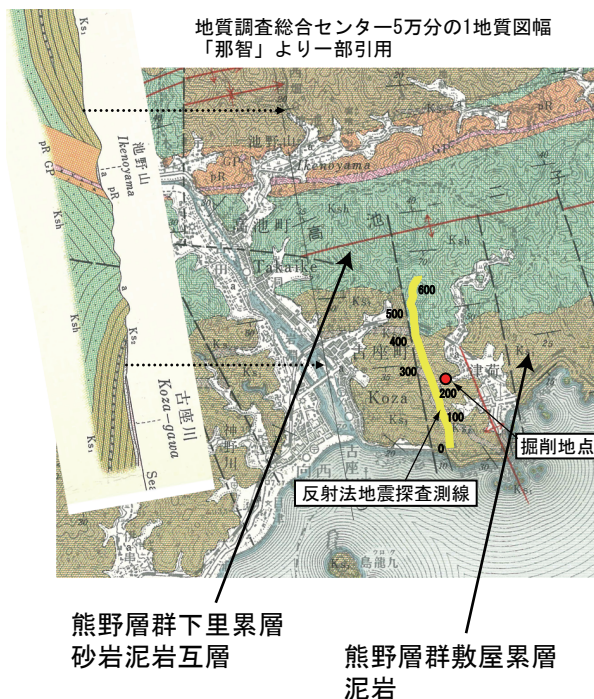


新規観測井の概念図

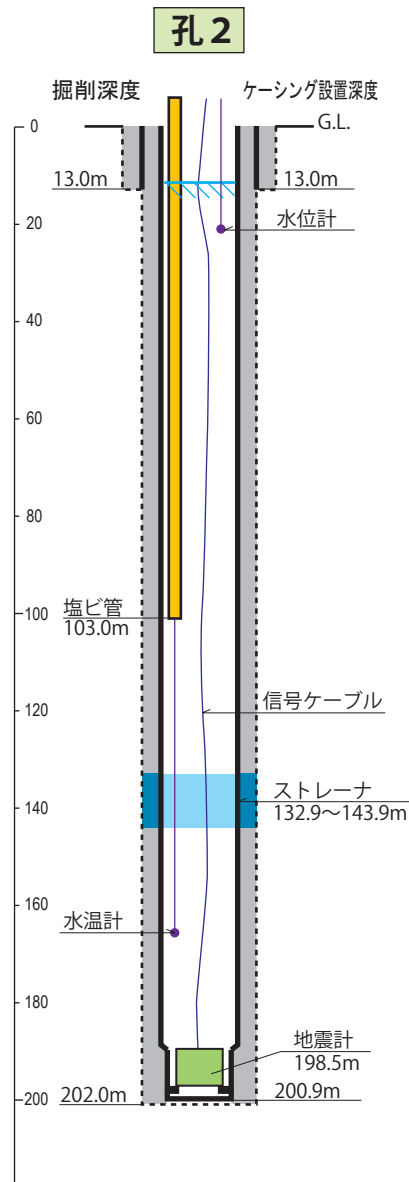
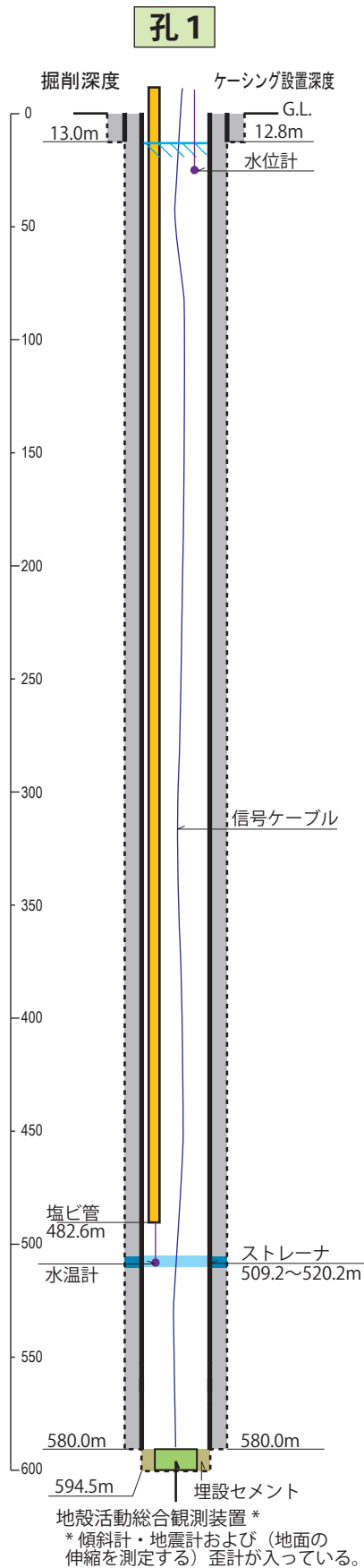
(1観測点につき3本の井戸を掘削)



観測施設周辺の地質構造



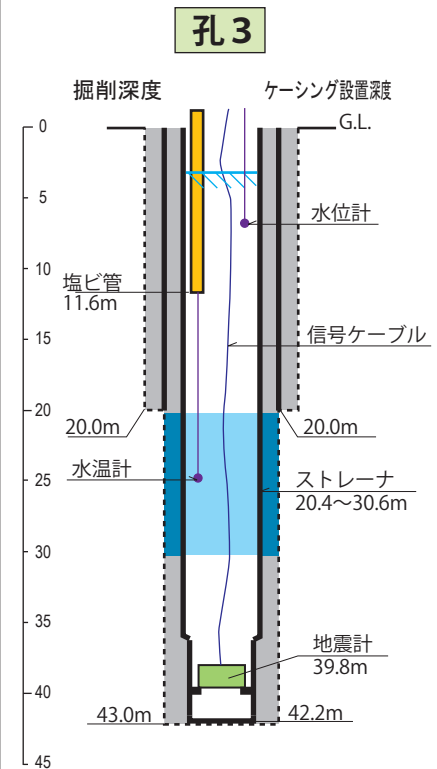
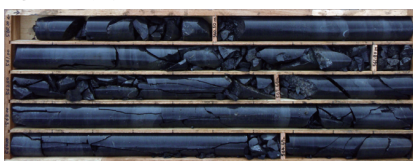
観測井の構造



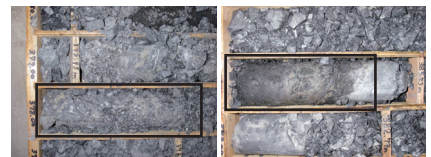
熊野層群下里累層の泥岩
孔 1 深度 560-565m ボーリングコア



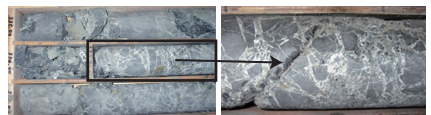
熊野層群敷屋累層の泥岩
孔 1 深度 30-35m ボーリングコア



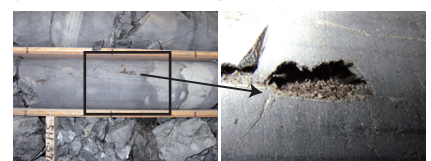
断層破碎帯
孔 1 深度 378m 付近
細粒化
孔 1 深度 384m 付近
粘土化



開口性断裂
孔 1 深度 333.7m 付近



開口性断裂
孔 1 深度 512.5m 付近 水晶晶洞



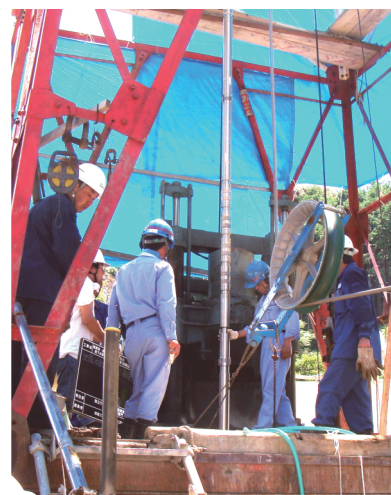
観測施設設置工事中の様子



工事現場の全景



ボーリングマシン



地殻活動総合観測装置の設置作業

交通アクセス

国土地理院 1:500,000 地方図「中部近畿」に加筆



南紀白浜空港より車で約 2 時間
JR 紀勢本線串本駅から車で約 15 分

国土地理院 1:25,000 地形図「古座」に加筆



JR 紀勢本線古座駅から車で約 10 分

謝 辞

串本津荷観測施設は串本町津荷地区にあります。
設置工事にあたっては、串本町役場及び津荷地区の方々および和歌山県庁の皆様から多大なるご協力とご理解をいただきました。関係各位に厚く御礼申し上げます。

問い合わせ先

産業技術総合研究所 地質調査総合センター
地震地下水研究グループ
電話：029-861-3656 ファックス：029-855-1298 メール：tectono-h1@m.aist.go.jp
データ公開ホームページ <http://www.gsj.jp/wellweb.html>